

ツルパワーワイヤー 施工手引き

1. はじめに

※材料の確認

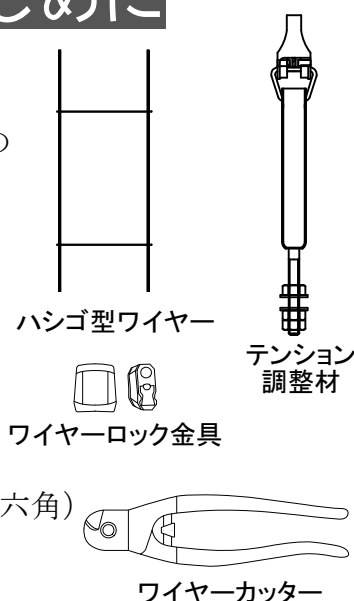
御注文いただきました資材及びその数量をご確認下さい。
下地金物に150mmピッチで取付け孔があいているかご確認下さい。

※工具の準備

ワイヤーカッター
インパクトレンチ(ロングソケット13mm六角)
またはラチェットレンチ(13mm六角)
スパナ(6mm六角、厚8mm以下)
※ワイヤーは切断面が指に刺さりやすいので
皮手袋等を着用して作業してください。

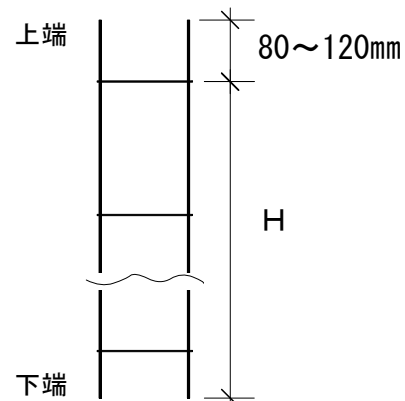
※保管上の注意

高温多湿を避け屋内で保管して下さい。



2. ワイヤー上端部(ワイヤーロック金具)の固定

①ハシゴ型ワイヤーの切断



①ハシゴ型ワイヤーを必要な長さに切断します。
その際、上端は横材から80~120mm程度の位置で切断して下さい。
※ワイヤーの切断には**ワイヤーカッター**を使用して下さい。番線カッターやクリッパーで切断すると切断面が毛づれ、固定金具への挿入が困難となります。

②ハシゴ型ワイヤーの挿入



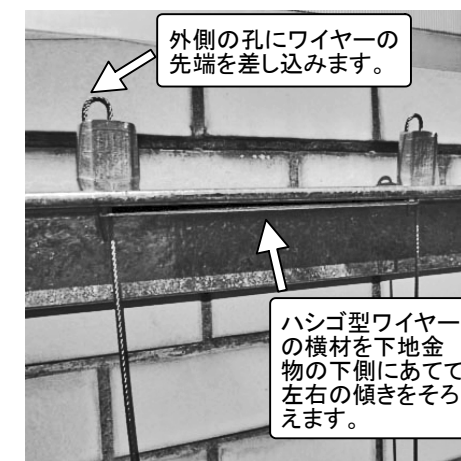
②ハシゴ型ワイヤー上端を下地金物の取付け孔に挿入します。
ハシゴ型ワイヤーの横材が下地金物の下側にあたるまで引き上げることで、左右の傾きを調整しやすくなります。

③ワイヤーロック金具の設置



③ワイヤーロック金具の矢印の向きを確認し(右下図参照)中央の孔にワイヤーを挿入します。
※ワイヤーロック金具はロック解除できません。万が一ワイヤーを取り外す場合は、ワイヤーを切断しなければなりませんので、設置位置にご注意下さい。

④上端部固定完了

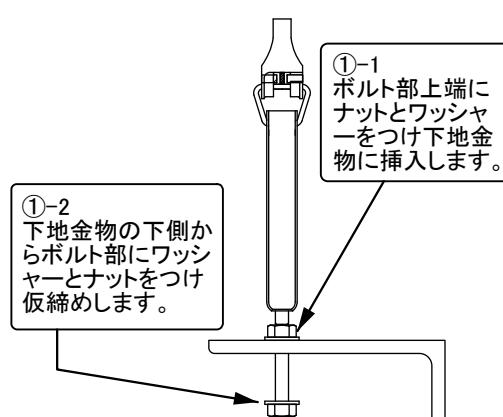


④ワイヤー端部をワイヤーロック金具外側の孔に差し込んで、上端部固定完了です。



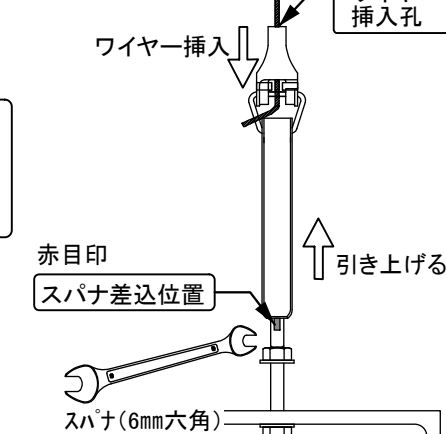
3. ワイヤー下端部(テンション調整材)の固定

①下地金物へ取付



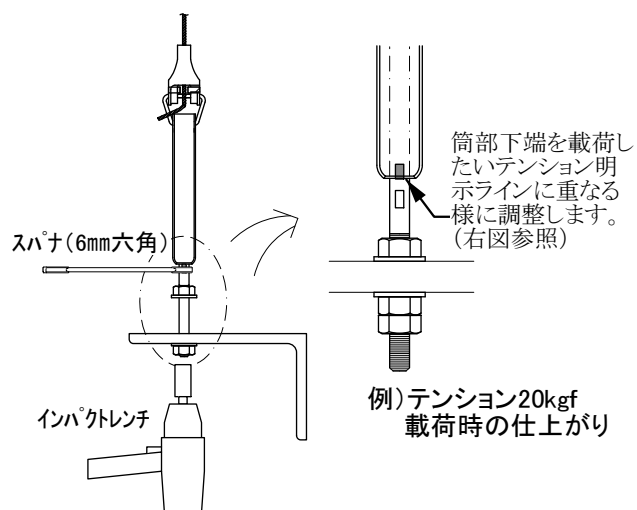
①テンション調整材のボルト部上端にナット・ワッシャーを取付け、下地金物に挿入後、ボルト部下端にワッシャー・ナットを仮締めします。

②ワイヤーの固定



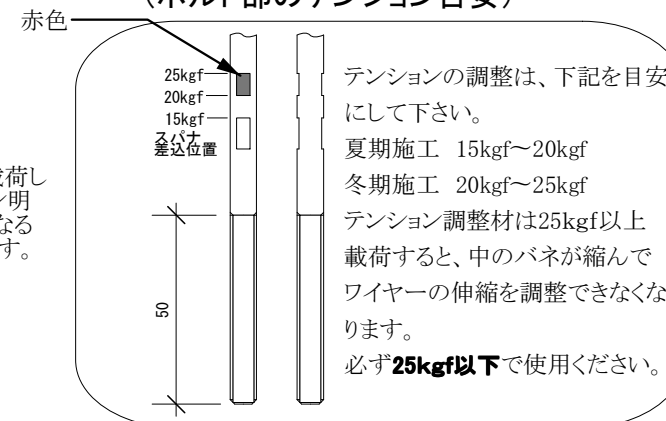
②ハシゴ型ワイヤー下端をテンション調整材のワイヤー挿入孔に挿入します。
テンション調整材の筒部を手で引き上げ、ボルト部のスパナ差込位置へスパナ(6mm六角)を差込みます。ワイヤーを下方へ引っ張り、緩みを取ります。

③テンションの調整



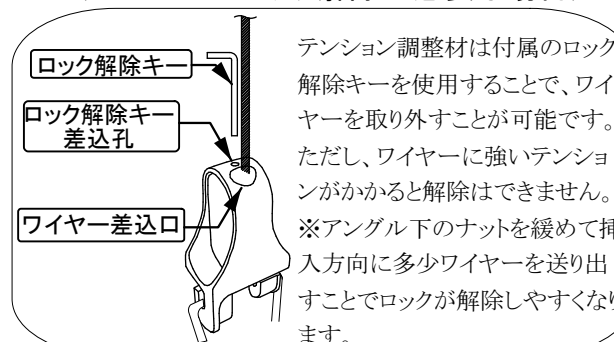
③スパナでボルトを固定したまま、下側のナットをインパクトレンチ等で締めテンションを調整します(右上図:テンションの目安)。
上側のナットを下地金物まで締め付け、下側にナットを追加し、ダブルナット固定します。

(ボルト部のテンション目安)



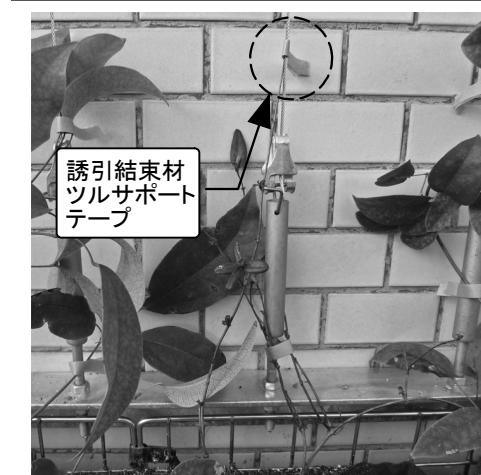
テンションの調整は、下記を目安にして下さい。
夏期施工 15kgf~20kgf
冬期施工 20kgf~25kgf
テンション調整材は25kgf以上
荷重すると、中のバネが縮んで
ワイヤーの伸縮を調整できなくなり
ます。
必ず**25kgf以下**で使用ください。

(ワイヤーのロック解除が必要な場合)



テンション調整材は付属のロック解除キーを使用することで、ワイヤーを取り外すことが可能です。ただし、ワイヤーに強いテンションがかかると解除はできません。
※アングル下のナットを緩めて挿入方向に多少ワイヤーを送り出すことでロックが解除しやすくなります。

4. 植付・施肥・灌水・誘引結束



つる植物を良質客土に植付け、ワイヤー部まで誘引、ツルサポートテープ等で結束します。
誘引結束後は十分に灌水を行って下さい。

※ツルサポートテープは、つる植物の誘引・結束用資材として弊社で取り扱っております。
※ビニール帯やインシュロック、化学繊維のしゅる縄等できつく結束すると、将来つる植物が太くなった際、くびれて折れてしまう可能性があります。